

タイトル「**2019年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2019年度 教養科目シラバス-「わかやま」学**」
シラバスの詳細は以下となります。

科目名	地域の課題と多様な関わりを考える																																		
担当教員	西川 一弘 木村 亮介																																		
対象学年		クラス																																	
講義室		開講学期	前期																																
曜日・時限	金 2	単位区分																																	
授業形態	講義	単位数	2																																
準備事項																																			
備考	全学部・全学年（1・2年次に履修することが望ましい）																																		
科目名（英語表記）	Study of regional problem and multiple relations																																		
授業の概要・ねらい	<p>現在、日本では人口の減少と偏在化（いわゆる、東京一極集中）によって、特に地方部では農業など第一次産業従事者の担い手不足や地場産業の衰退、若者人材の流出など様々な課題を抱えています。こうした中で、各市町村（地方自治体）では地域の課題解決と豊かな暮らしの実現を目指した施策を講じています。本講義では、梅や柑橘を中心とする農業を基幹産業に、世界遺産熊野古道を有し多くのインバウンド客を迎え入れる、県下第2の地方都市「田辺市」をフィールドに、いわゆる地方における地域課題への取組を解説するとともに、地域づくり、関係人口づくりについて概説します。</p> <p>※本講義は田辺市による寄附講義として開講され、地域で活躍するゲストをはじめ、市長、行政職員を招いて講義を行います。H30年度開催の「ロカリアル」からの継続事業です。ロカリアル企画者の田代優秋客員教員や必要に応じて田辺市につながりのある教員の応援ももらいます。</p>																																		
授業計画	<table border="1"><thead><tr><th>回</th><th>内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>オリエンテーション（目的、成績評価など） 講義の目的など、田辺市の地域課題について概説</td></tr><tr><td>2</td><td>自治体と大学との連携（1） なぜ、自治体は大学と連携するのか？ （田辺市企画広報課）</td></tr><tr><td>3</td><td>自治体と大学との連携（2） 新卒1ターン起業者らによる地域に根ざしたビジネスとは？ （一般社団法人kumano.co 川端佑典、森岡雅勝）</td></tr><tr><td>4</td><td>シティプロモーション 地域ブランドイメージの確立と発信 （田辺市たなべ営業室）</td></tr><tr><td>5</td><td>地域ビジネスを担う人材育成（1） 鳥獣害、耕作放棄地、担い手不足を本業を活かしたビジネスモデルで解決 （株式会社日向屋 代表 岡本和宜）</td></tr><tr><td>6</td><td>地域ビジネスを担う人材育成（2） ゆりかごから極楽浄土までを共に歩む『人生参加型工務店』の仕事の生み出し方 （株式会社高垣工務店 代表取締役 石山登啓）</td></tr><tr><td>7</td><td>ワーケーション 和歌山県が進めるワーク+バケーションという新しい働き方とは？ （和歌山県情報政策課 課長 天野宏）</td></tr><tr><td>8</td><td>行政による地域振興（まちづくり） 観光施策を事例とした国、県、市での業務の違いと連携 （和歌山県観光交流課 課長 後藤暢子、田辺市観光振興課）</td></tr><tr><td>9</td><td>地域づくりと人づくり 社会教育・生涯学習における人材育成とは？ （田辺市生涯学習課）</td></tr><tr><td>10</td><td>関係人口（地域に住んでいなくても応援者“関わり”を作る） 暮らしの中にある地域の魅力とは、ガイドブック制作を通じた地域との関わり方 （文筆家 甲斐みのり）</td></tr><tr><td>11</td><td>ワークショップ（1）：事例報告 ワカモノ+〇〇=関係人口づくり「住んでいなくても応援できる方法とは？」</td></tr><tr><td>12</td><td>ワークショップ（2）：グループワーク 地域の魅力や課題とそれらへの関わり方を考える</td></tr><tr><td>13</td><td>ワークショップ（3）：グループワーク 関わり方の具体的な実践案を中間報告</td></tr><tr><td>14</td><td>ワークショップ（4）：グループワーク グループごとに地域に関わり応援する方法を発表</td></tr><tr><td>15</td><td>地方からの未来づくり 田辺市長トークセッション「これからの地域と、関わりづくり方」 （田辺市長 真砂充敏）</td></tr></tbody></table>	回	内容	1	オリエンテーション（目的、成績評価など） 講義の目的など、田辺市の地域課題について概説	2	自治体と大学との連携（1） なぜ、自治体は大学と連携するのか？ （田辺市企画広報課）	3	自治体と大学との連携（2） 新卒1ターン起業者らによる地域に根ざしたビジネスとは？ （一般社団法人kumano.co 川端佑典、森岡雅勝）	4	シティプロモーション 地域ブランドイメージの確立と発信 （田辺市たなべ営業室）	5	地域ビジネスを担う人材育成（1） 鳥獣害、耕作放棄地、担い手不足を本業を活かしたビジネスモデルで解決 （株式会社日向屋 代表 岡本和宜）	6	地域ビジネスを担う人材育成（2） ゆりかごから極楽浄土までを共に歩む『人生参加型工務店』の仕事の生み出し方 （株式会社高垣工務店 代表取締役 石山登啓）	7	ワーケーション 和歌山県が進めるワーク+バケーションという新しい働き方とは？ （和歌山県情報政策課 課長 天野宏）	8	行政による地域振興（まちづくり） 観光施策を事例とした国、県、市での業務の違いと連携 （和歌山県観光交流課 課長 後藤暢子、田辺市観光振興課）	9	地域づくりと人づくり 社会教育・生涯学習における人材育成とは？ （田辺市生涯学習課）	10	関係人口（地域に住んでいなくても応援者“関わり”を作る） 暮らしの中にある地域の魅力とは、ガイドブック制作を通じた地域との関わり方 （文筆家 甲斐みのり）	11	ワークショップ（1）：事例報告 ワカモノ+〇〇=関係人口づくり「住んでいなくても応援できる方法とは？」	12	ワークショップ（2）：グループワーク 地域の魅力や課題とそれらへの関わり方を考える	13	ワークショップ（3）：グループワーク 関わり方の具体的な実践案を中間報告	14	ワークショップ（4）：グループワーク グループごとに地域に関わり応援する方法を発表	15	地方からの未来づくり 田辺市長トークセッション「これからの地域と、関わりづくり方」 （田辺市長 真砂充敏）		
回	内容																																		
1	オリエンテーション（目的、成績評価など） 講義の目的など、田辺市の地域課題について概説																																		
2	自治体と大学との連携（1） なぜ、自治体は大学と連携するのか？ （田辺市企画広報課）																																		
3	自治体と大学との連携（2） 新卒1ターン起業者らによる地域に根ざしたビジネスとは？ （一般社団法人kumano.co 川端佑典、森岡雅勝）																																		
4	シティプロモーション 地域ブランドイメージの確立と発信 （田辺市たなべ営業室）																																		
5	地域ビジネスを担う人材育成（1） 鳥獣害、耕作放棄地、担い手不足を本業を活かしたビジネスモデルで解決 （株式会社日向屋 代表 岡本和宜）																																		
6	地域ビジネスを担う人材育成（2） ゆりかごから極楽浄土までを共に歩む『人生参加型工務店』の仕事の生み出し方 （株式会社高垣工務店 代表取締役 石山登啓）																																		
7	ワーケーション 和歌山県が進めるワーク+バケーションという新しい働き方とは？ （和歌山県情報政策課 課長 天野宏）																																		
8	行政による地域振興（まちづくり） 観光施策を事例とした国、県、市での業務の違いと連携 （和歌山県観光交流課 課長 後藤暢子、田辺市観光振興課）																																		
9	地域づくりと人づくり 社会教育・生涯学習における人材育成とは？ （田辺市生涯学習課）																																		
10	関係人口（地域に住んでいなくても応援者“関わり”を作る） 暮らしの中にある地域の魅力とは、ガイドブック制作を通じた地域との関わり方 （文筆家 甲斐みのり）																																		
11	ワークショップ（1）：事例報告 ワカモノ+〇〇=関係人口づくり「住んでいなくても応援できる方法とは？」																																		
12	ワークショップ（2）：グループワーク 地域の魅力や課題とそれらへの関わり方を考える																																		
13	ワークショップ（3）：グループワーク 関わり方の具体的な実践案を中間報告																																		
14	ワークショップ（4）：グループワーク グループごとに地域に関わり応援する方法を発表																																		
15	地方からの未来づくり 田辺市長トークセッション「これからの地域と、関わりづくり方」 （田辺市長 真砂充敏）																																		
到達目標	都会と地方といった安直な比較ではなく、それぞれが果たす役割を理解し、地方行政の意義と内容を理解します。その上で、自分と地域、自分と地元とのかかわり方を考える力を養うことを目的とします。																																		
成績評価の方法	各授業でのレポート・感想と、最終レポートによって評価します。																																		
教科書	なし																																		
参考書・参考文献	田辺市の広報資料など授業で配布します。																																		
履修上の注意・メッセージ	本講義を通じ、地方公務員や地域に根ざして働く人々の仕事ぶりや役割を知ることで、将来の進路の選択肢を増やしてほしいと思います。講義とは別に、田辺市を実際に訪れる学修ツアーも企画しています。詳細は講義中に紹介します。																																		
履修する上で必要な事項																																			
受講を推奨する関連科目	「地域協働セミナー」「地域創業論」																																		
授業時間外学修についての指示	田辺市のホームページや立地などを事前に把握しておくことを推奨します。 各授業内容に関連する課題や動向、キーワードについては、自主的にも調べておいてください。																																		
その他連絡事項																																			
科目ナンバリング	C0040011J																																		